

## VI 圏域別の状況について

### 1 地域課題分析の視点

ここでは、本市の圏域別の地域課題を分析するため、主に圏域別に集計された調査結果を比較することで、5つの圏域のそれぞれの特徴と課題を分析します。集計・分析する項目は以下のとおりです。

#### (1) 地域別の状況の市平均との比較

介護予防・日常生活圏域ニーズ調査及び在宅介護実態調査の結果に基づき、以下の項目について、各圏域における調査結果の集計を市全域の集計と比較することで、それぞれの圏域の特徴・課題を分析します。

項目	内容
1. 統計指標	○年齢別人口 ○高齢化率
2. 高齢者の状況	○単身世帯の割合 ○高齢者夫婦のみ世帯の割合 ○各種要介護リスクの状況
3. 地域での活動	○地域づくり活動（参加者）への参加意向 ○地域づくり活動（企画・運営）への参加意向 ○ボランティアグループ参加率 ○老人クラブ参加率 ○町内会・自治会参加率 ○支援や助け合いの活動意向
4. 健康観や幸福感	○主観的健康観 ○幸福感 ○趣味の有無 ○生きがいの有無
5. 孤立の状況	○孤食の状況 ○友人との交流の少なさ ○心配事や愚痴を聞いてくれる人がいない ○看病や世話をしてくれる人がいない ○昨年と比べて外出の回数が減っている ○外出を控えている
6. 在宅介護の状況	○老々介護の割合 ○施設等への入所・入居の検討 ○介護保険以外の支援・サービスの利用 ○介護保険サービスの利用の有無 ○訪問診療の利用の有無 ○主な介護者が行う介護の種類 ○就労継続の見通し ○成年後見制度の認知度（新規）

## (2) 地域課題の分析における留意事項

- ◆市全域の人口・圏域別・年齢別人口は、令和7年10月1日現在の瀬戸市連区別・年齢別・男女別人口に基づきます。
- ◆地域カルテに掲載している、介護予防・日常生活圏域ニーズ調査に基づく数値については、要支援者の割合の違いによって地区ごとの数値にばらつきが出て比較ができなくなることを防ぐため、要支援者を除いた一般高齢者のみの数値を用いています。
- ◆各圏域の要介護リスクの状況についてのレーダーチャートについては、各リスクの割合を平均50、標準偏差10に揃えた標準得点（偏差値）で比較しています。

## (3) 地域カルテ指標

地域カルテにおいて指標として用いた数値の定義は以下のとおりです。なお、各種要介護リスクの判定方法については、「Ⅱ 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査の結果」の「11 要介護リスクの状況について（一般高齢者）」において記載しています。

	指標	説明
1	単身世帯の割合	介護予防・日常生活圏域ニーズ調査問2で「1人暮らし」を回答した割合。
2	高齢者夫婦のみ世帯の割合	介護予防・日常生活圏域ニーズ調査問2で「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」を回答した割合。
3	リスクの割合	介護予防・日常生活圏域ニーズ調査から算出された各リスクの割合。
4	地域づくり活動への参加意向（参加者として）	介護予防・日常生活圏域ニーズ調査問64で、「ぜひ参加したい」「参加してもよい」「既に参加している」のいずれかを回答した割合。
5	地域づくり活動への参加意向（企画・運営として）	介護予防・日常生活圏域ニーズ調査問66で、「ぜひ参加したい」「参加してもよい」「既に参加している」のいずれかを回答した割合。
6	ボランティアのグループ参加率 老人クラブ参加率 町内会・自治会参加率	介護予防・日常生活圏域ニーズ調査問62で、①ボランティアのグループ、⑧老人クラブ、⑨町内会・自治会のそれぞれについて、「参加していない」以外を回答した割合。
7	支援・助け合い活動可能数平均	介護予防・日常生活圏域ニーズ調査問67で「特にできることはない」「無回答」以外の助け合い活動を回答した数の平均。
8	主観的健康感が良い	介護予防・日常生活圏域ニーズ調査問80で「とてもよい」または「まあよい」を回答した割合。
9	幸福感がある（8点以上）	介護予防・日常生活圏域ニーズ調査問81で「8点」「9点」「10点」のいずれかを回答した割合。
10	趣味がある	介護予防・日常生活圏域ニーズ調査問56で「はい」と回答した割合。
11	生きがいがある	介護予防・日常生活圏域ニーズ調査問57で「はい」と回答した割合。
12	誰かと食事をともにする機会がない	介護予防・日常生活圏域ニーズ調査問32で「ほとんどない」と回答した割合。
13	友人との交流がない	介護予防・日常生活圏域ニーズ調査問78で「0人（いない）」と回答した割合。
14	心配事や愚痴を聞いてくれる人がいない	介護予防・日常生活圏域ニーズ調査問72で「そのような人はいない」と回答した割合。
15	看病や世話をしてくれる人がいない	介護予防・日常生活圏域ニーズ調査問74で「そのような人はいない」と回答した割合。

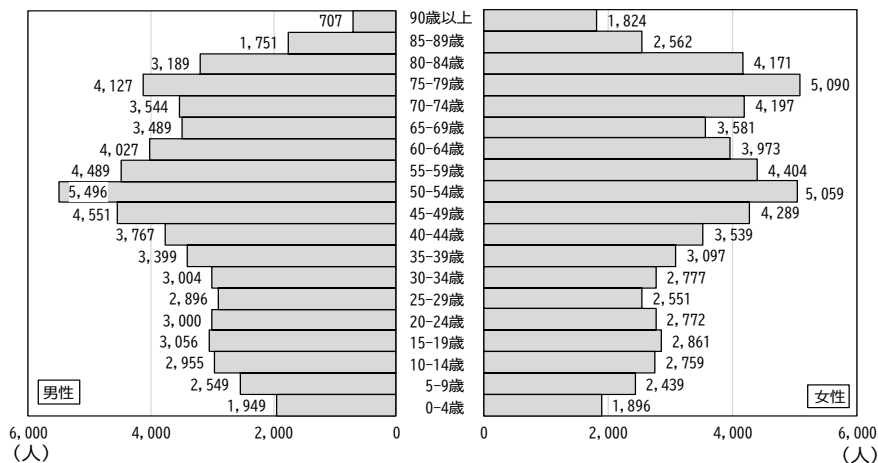
	指標	説明
16	昨年と比べて外出の回数が減っている	介護予防・日常生活圏域ニーズ調査問 17 で「とても減っている」または「減っている」と回答した割合。
17	外出を控えている	介護予防・日常生活圏域ニーズ調査問 18 で「はい」と回答した割合。
18	主な介護者が 70 歳以上	在宅介護実態調査 B 票問 4 で主な介護者の年齢について「70 歳代」または「80 歳以上」と回答した割合。
19	施設等への入所・入居を検討／申し込みをしている	在宅介護実態調査 A 票問 4 で「入所・入居を検討している」または「すでに入所・入居申し込みをしている」と回答した割合。
20	利用している介護保険以外の支援・サービスの種類の平均	在宅介護実態調査 A 票問 8 で「利用していない」「無回答」以外の支援・サービスを回答した数の平均。
21	介護保険サービスを利用していない	在宅介護実態調査 A 票問 6 で「利用していない」と回答した割合。
22	訪問診療を利用していない	在宅介護実態調査 A 票問 10 で「利用していない」と回答した割合。
23	主な介護者が行う介護の種類 の平均	在宅介護実態調査 B 票問 5 で「わからない」「無回答」以外の介護等を回答した数の平均。
24	就労継続の見通しが困難	在宅介護実態調査 B 票問 10 で「続けていくのは、やや難しい」または「続けていくのは、かなり難しい」と回答した割合。
25	成年後見制度の認知度（新規）	在宅介護実態調査 B 票問 13 で「よく知っている」または「だいたいの内容は知っている」と回答した割合。

## 2 地域課題の分析

### (1) 市全域

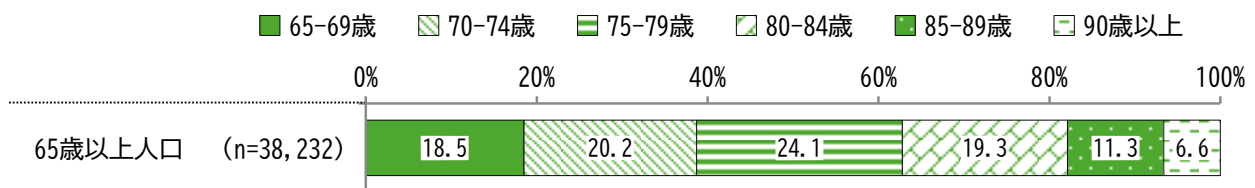
- ◆高齢者の人口は75～79歳が最も多くなっており、今後この年代がさらに高齢化することで、支援が必要な高齢者が増加することが見込まれます。
- ◆前回調査との違いとして、「生きがいがある」の割合が31.2%、「趣味がある」の割合が14.7%それぞれ減少しており、高齢者の生きがいづくり活動の支援の重要性がうかがえます。「外出を控えている」という割合は10%以上減少し、前回の新型コロナウイルス感染症の影響を受けたと考えられる時期とは、一変していることがうかがえます。在宅介護の状況では、介護者について、「働きながら介護を続けていくことが難しい」と考える人が前回調査から7.9%増加し、2割となっています。
- ◆要介護リスクについては、全体的に悪化していませんが、転倒リスクのみ微増しており、引き続き介護予防の取組の重要性がうかがえます。

### ■人口ピラミッド（人口：125,786人、65歳以上：30.4%、75歳以上：18.6%）



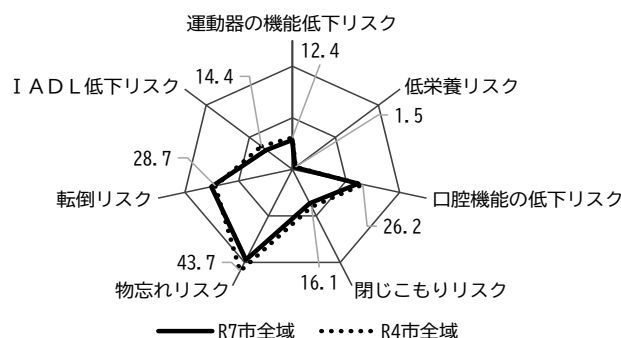
出典：令和7年10月1日現在 瀬戸市年齢別・男女別人口

### ■年齢別高齢者人口割合



出典：令和7年10月1日現在 瀬戸市年齢別人口

### ■要介護リスクの状況（前回調査との比較）

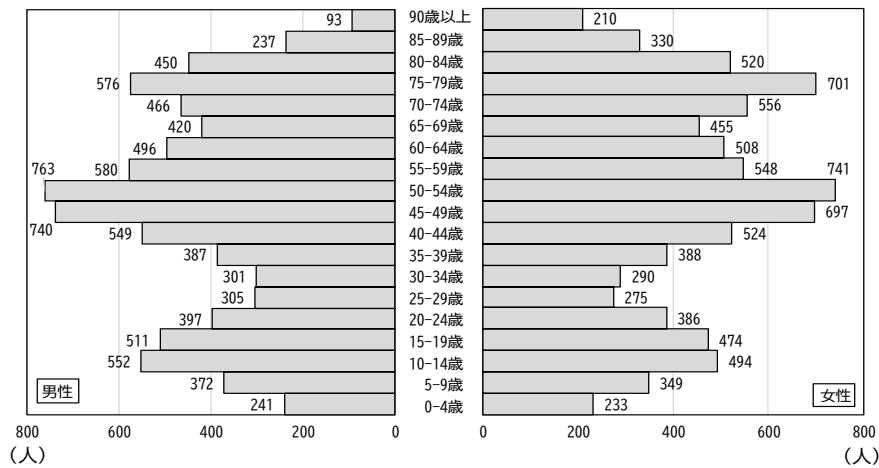


地域カルテ 【市全域】					
指標等項目	数値	前回との差	指標等項目	数値	前回との差
<b>1. 統計指標</b>					
人口	125,786人	-2,557	高齢化率	30.4%	0.5%
高齢者人口	38,232人	-201	75歳以上人口率	18.6%	2.1%
75歳以上人口	23,421人	2,194	85歳以上人口率	5.4%	0.6%
<b>2. 高齢者の状況</b>					
単身世帯の割合	15.5%	-0.7%	口腔機能低下リスク	24.6%	-1.6%
高齢者夫婦のみ世帯の割合	46.7%	0.2%	閉じこもりリスク	14.5%	-1.6%
虚弱リスク	7.1%	-1.1%	物忘れリスク	38.9%	-4.8%
運動器の機能低下リスク	11.4%	-1.0%	転倒リスク	30.1%	1.4%
低栄養リスク	1.3%	-0.2%	IADL低下	12.1%	-2.3%
<b>3. 地域での活動</b>					
地域づくり活動への参加意向（参加者として）	51.7%	-0.7%	老人クラブ参加率	3.1%	-1.2%
地域づくり活動への参加意向（企画・運営として）	34.6%	3.4%	町内会・自治会参加率	32.6%	7.3%
ボランティアのグループ参加率	11.1%	-3.8%	支援・助け合い活動可能数平均	2.66	0.11
<b>4. 健康観や幸福感</b>					
主観的健康感が良い	74.1%	-3.4%	趣味がある	62.0%	-14.7%
幸福感がある（8点以上）	35.0%	0.0%	生きがいがある	47.1%	-31.2%
<b>5. 孤立の状況</b>					
誰かと食事をとる機会がない	7.4%	-0.2%	看病や世話をしてくれる人がいない	4.1%	-0.8%
友人との交流がない	18.2%	-0.6%	昨年と比べて外出の回数が減っている	23.1%	-4.9%
心配事や愚痴を聞いてくれる人がいない	3.6%	-0.4%	外出を控えている	13.7%	-15.2%
<b>6. 在宅介護の状況</b>					
主な介護者が70歳以上	43.7%	5.5%	訪問診療を利用していない	68.4%	-8.2%
施設等への入所・入居を検討／申し込みをしている	33.4%	3.0%	主な介護者が行う介護の種類	6.36	0.38
利用している介護保険以外の支援・サービスの種類の平均	1.86	0.04	就労継続の見通しが困難	20.0%	7.9%
介護保険サービスを利用していない	30.3%	5.6%	成年後見制度の認知度（新規）	36.6%	-

(2) 北部圏域（水野・西陵連区）

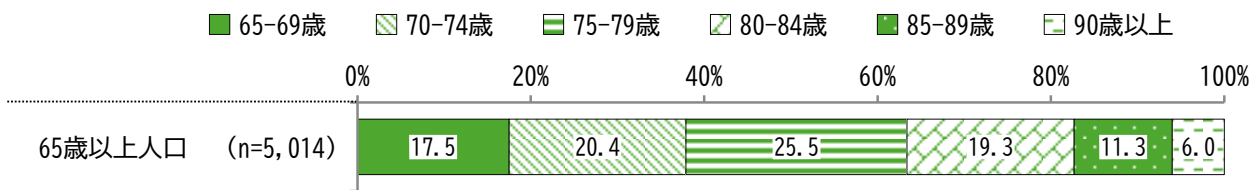
- ◆高齢者の年齢構成はほぼ市全域と同様の傾向となっており、今後人口の多い70歳代が高齢化することで、支援が必要な高齢者が増加することが見込まれます。
- ◆高齢者の状況をみると、物忘れリスクが市全域より5%高くなっています。
- ◆地域活動の状況では、地域での活動におけるその他の指標においても平均を上回っており、「参加者としての地域づくり活動への参加意向」が市全域より7.7%高くなっています。
- ◆主観的健康観、幸福感が市全域を上回っているものの、「生きがいがある」の割合が市全域より5.0%低くなっています。
- ◆在宅介護の状況をみると、「介護保険サービスを利用していない」及び「訪問診療を利用していない」の割合が市全域より6.1%高く、「就労継続の見通しが困難」の割合が市全域より20.0%高くなっています。

■人口ピラミッド（人口：17,115人、65歳以上：29.3%、75歳以上：18.2%）



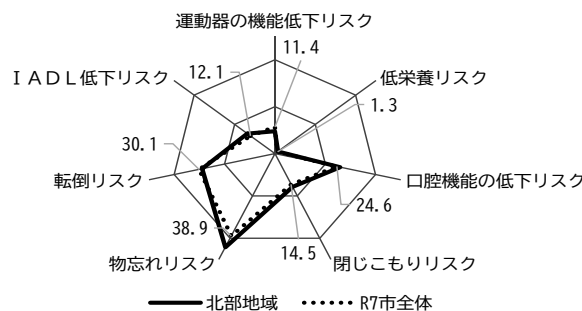
出典：令和7年10月1日現在 瀬戸市連区別・年齢別・男女別人口

■年齢別高齢者人口割合



出典：令和7年10月1日現在 瀬戸市年齢別人口

■要介護リスクの状況（圏域平均との比較）

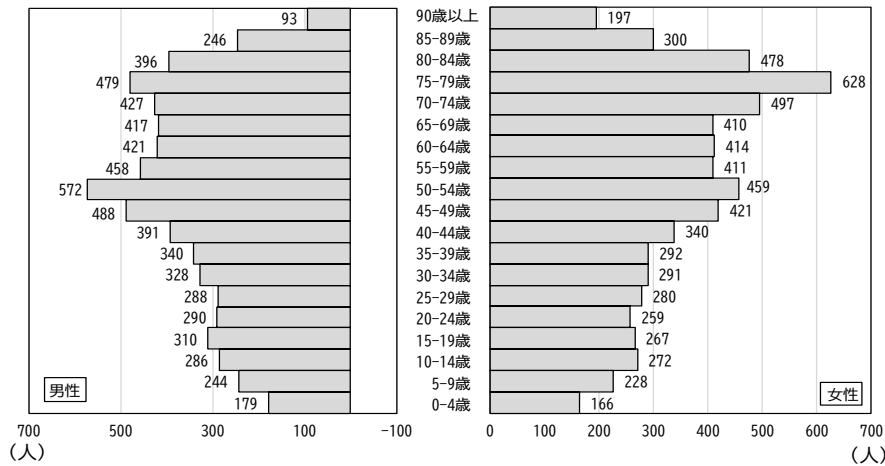


地域カルテ 【北部圏域】					
指標等項目	数値	市全域との差	指標等項目	数値	市全域との差
<b>1. 統計指標</b>					
人口	17,115人	-	高齢化率	29.3%	-1.1%
高齢者人口	5,014人	-	75歳以上人口率	18.2%	-0.4%
75歳以上人口	3,117人	-	85歳以上人口率	5.1%	-0.3%
<b>2. 高齢者の状況</b>					
0					
単身世帯の割合	15.2%	-0.3%	口腔機能低下リスク	25.9%	1.3%
高齢者夫婦のみ世帯の割合	49.7%	3.0%	閉じこもりリスク	15.7%	1.2%
虚弱リスク	5.6%	-1.5%	物忘れリスク	44.2%	5.3%
運動器の機能低下リスク	9.6%	-1.8%	転倒リスク	28.9%	-1.2%
低栄養リスク	1.5%	0.2%	IADL低下	13.7%	1.6%
<b>3. 地域での活動</b>					
地域づくり活動への参加意向（参加者として）	59.4%	7.7%	老人クラブ参加率	3.5%	0.4%
地域づくり活動への参加意向（企画・運営として）	37.5%	2.9%	町内会・自治会参加率	36.0%	3.4%
ボランティアのグループ参加率	13.7%	2.6%	支援・助け合い活動可能数平均	2.79	0.13
<b>4. 健康観や幸福感</b>					
主観的健康感が良い	76.2%	2.1%	趣味がある	62.4%	0.4%
幸福感がある（8点以上）	37.1%	2.1%	生きがいがある	42.1%	-5.0%
<b>5. 孤立の状況</b>					
誰かと食事をとる機会がない	10.2%	2.8%	看病や世話をしてくれる人がいない	2.5%	-1.6%
友人との交流がない	15.2%	-3.0%	昨年と比べて外出の回数が減っている	23.9%	0.8%
心配事や愚痴を聞いてくれる人がいない	3.6%	0.0%	外出を控えている	15.2%	1.5%
<b>6. 在宅介護の状況</b>					
主な介護者が70歳以上	40.5%	-3.2%	訪問診療を利用していない	74.5%	6.1%
施設等への入所・入居を検討／申し込みをしている	29.1%	-4.3%	主な介護者が行う介護の種類	7.14	0.78
利用している介護保険以外の支援・サービスの種類	1.50	-0.36	就労継続の見通しが困難	40.0%	20.0%
介護保険サービスを利用していない	36.4%	6.1%	成年後見制度の認知度（新規）	51.3%	14.7%

### (3) 東部圏域（品野・下品野・東明連区）

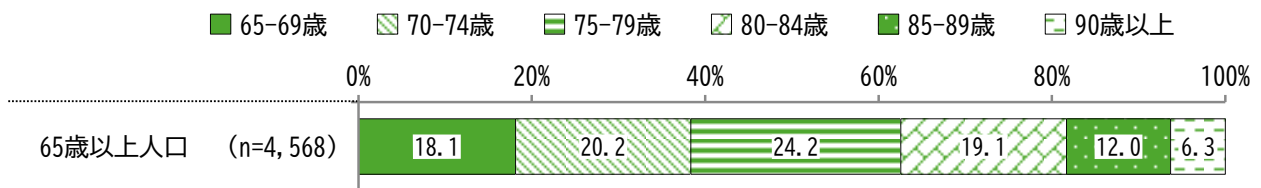
- ◆高齢化率、75歳以上人口率ともに5圏域の中で最も高く、本市において最も高齢化が進んだ地域となっています。
- ◆高齢者の状況を見ると、市全域より数値の低い項目が多く、物忘れリスク、虚弱リスク、運動器の機能低下リスク、転倒リスクが市全域より下回っています。
- ◆地域での活動については、「町内会・自治会参加率」が3.4%高くなっています。
- ◆孤立の状況について、「外出を控えている」以外の項目において市全域より下回っています。
- ◆在宅介護の状況を見ると、「介護保険サービスを利用していない」が13.2%、「施設等への入所・入居を検討／申し込みをしている」が7.9%、「就労継続の見通しが困難」が3.1%で市全域より高くなっています。

### ■人口ピラミッド（人口：13,263人、65歳以上34.4：％、75歳以上：21.2％）



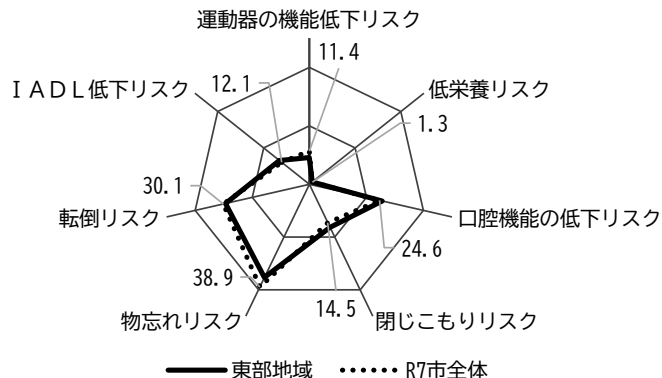
出典：令和7年10月1日現在 瀬戸市連区別・年齢別・男女別人口

### ■年齢別高齢者人口割合



出典：令和7年10月1日現在 瀬戸市年齢別人口

### ■要介護リスクの状況（圏域平均との比較）

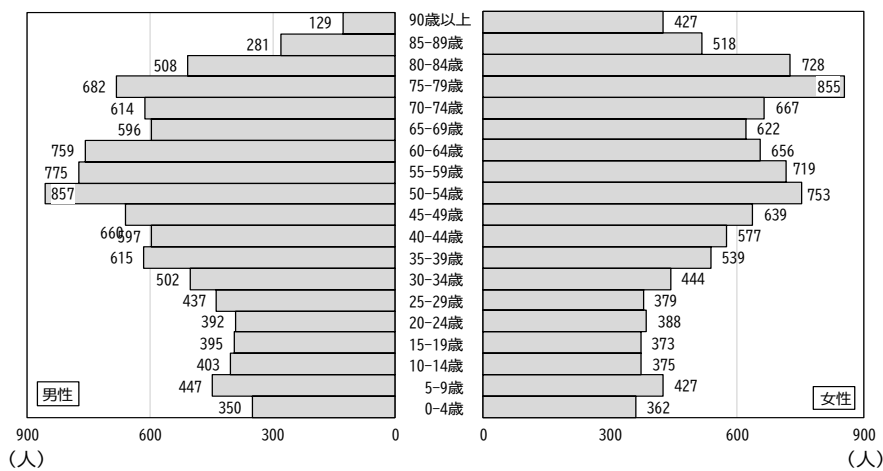


地域カルテ 【東部圏域】					
指標等項目	数値	市全域との差	指標等項目	数値	市全域との差
<b>1. 統計指標</b>					
人口	13,263人	-	高齢化率	34.4%	4.0%
高齢者人口	4,568人	-	75歳以上人口率	21.2%	2.6%
75歳以上人口	2,817人	-	85歳以上人口率	6.3%	0.9%
<b>2. 高齢者の状況</b>					
単身世帯の割合	11.8%	-3.7%	口腔機能低下リスク	25.5%	0.9%
高齢者夫婦のみ世帯の割合	47.1%	0.4%	閉じこもりリスク	16.3%	1.8%
虚弱リスク	3.9%	-3.2%	物忘れリスク	35.3%	-3.6%
運動器の機能低下リスク	9.2%	-2.2%	転倒リスク	29.4%	-0.7%
低栄養リスク	1.3%	0.0%	IADL低下	13.1%	1.0%
<b>3. 地域での活動</b>					
地域づくり活動への参加意向（参加者として）	48.4%	-3.3%	老人クラブ参加率	2.7%	-0.4%
地域づくり活動への参加意向（企画・運営として）	31.5%	-3.1%	町内会・自治会参加率	41.9%	9.3%
ボランティアのグループ参加率	13.1%	2.0%	支援・助け合い活動可能数平均	2.81	0.15
<b>4. 健康観や幸福感</b>					
主観的健康感が良い	76.5%	2.4%	趣味がある	58.2%	-3.8%
幸福感がある（8点以上）	35.3%	0.3%	生きがいがある	47.1%	0.0%
<b>5. 孤立の状況</b>					
誰かと食事をとる機会がない	2.6%	-4.8%	看病や世話をしてくれる人がいない	3.3%	-0.8%
友人との交流がない	15.7%	-2.5%	昨年と比べて外出の回数が減っている	22.3%	-0.8%
心配事や愚痴を聞いてくれる人がいない	2.6%	-1.0%	外出を控えている	13.7%	0.0%
<b>6. 在宅介護の状況</b>					
主な介護者が70歳以上	37.9%	-5.8%	訪問診療を利用していない	58.7%	-9.7%
施設等への入所・入居を検討／申し込みをしている	41.3%	7.9%	主な介護者が行う介護の種類	7.48	1.12
利用している介護保険以外の支援・サービスの種類	2.07	0.21	就労継続の見通しが困難	23.1%	3.1%
介護保険サービスを利用していない	43.5%	13.2%	成年後見制度の認知度（新規）	27.5%	-9.1%

(4) 中央地域東（古瀬戸・道泉・深川・祖母懐・陶原連区）

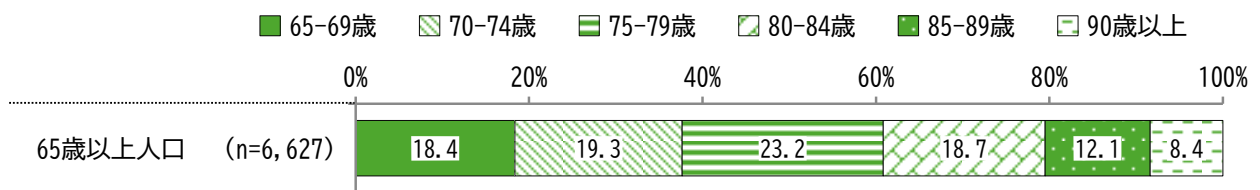
- ◆高齢化率は5圏域の中では2番目に高くなっています。また、高齢者に占める75歳以上の割合が5圏域で最も高くなっています。
- ◆高齢者の状況をみると、市全域より数値の高い項目が多く、中でも転倒リスク、口腔機能低下リスク、虚弱リスクが高くなっています。
- ◆地域での活動について、「企画・運営としての地域づくりへの参加意向」が市全域より4.0%高くなっています。
- ◆「誰かと食事をともしる機会がない」、「友人との交流がない」といった孤立のリスクに関する項目が市全域を上回っています。
- ◆在宅介護の状況をみると、「介護保険サービスを利用していない」が市全域より9%低く、「訪問診療を利用していない」が市全域より10.3%高くなっています。

■人口ピラミッド（人口：20,447人、65歳以上：32.4%、75歳以上：20.2%）



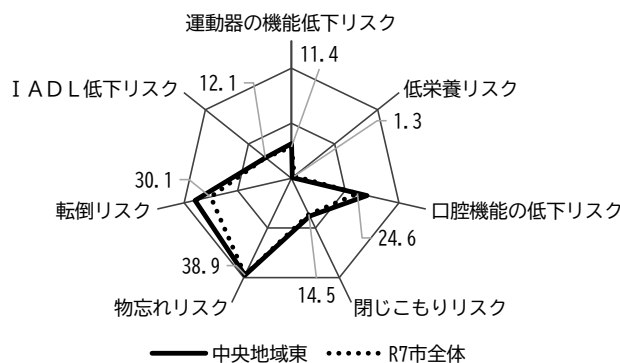
出典：令和7年10月1日現在 瀬戸市連区別・年齢別・男女別人口

■年齢別高齢者人口割合



出典：令和7年10月1日現在 瀬戸市年齢別人口

■要介護リスクの状況（圏域平均との比較）

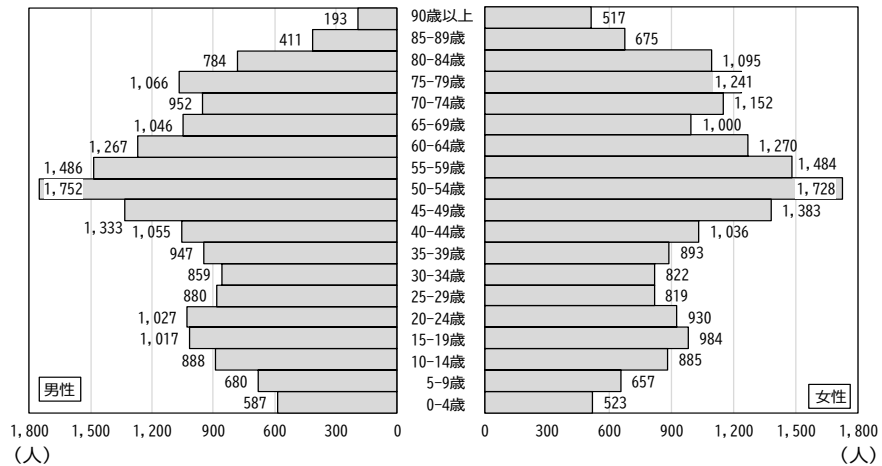


地域カルテ 【中央地域東】					
指標等項目	数値	市全域との差	指標等項目	数値	市全域との差
<b>1. 統計指標</b>					
人口	20,447人	-	高齢化率	32.4%	2.0%
高齢者人口	6,627人	-	75歳以上人口率	20.2%	1.6%
75歳以上人口	4,128人	-	85歳以上人口率	6.6%	1.2%
<b>2. 高齢者の状況</b>					
単身世帯の割合	18.2%	2.7%	口腔機能低下リスク	28.1%	3.5%
高齢者夫婦のみ世帯の割合	44.2%	-2.5%	閉じこもりリスク	15.2%	0.7%
虚弱リスク	9.1%	2.0%	物忘れリスク	39.0%	0.1%
運動器の機能低下リスク	12.6%	1.2%	転倒リスク	35.9%	5.8%
低栄養リスク	0.4%	-0.9%	IADL低下	12.1%	0.0%
<b>3. 地域での活動</b>					
地域づくり活動への参加意向（参加者として）	50.7%	-1.0%	老人クラブ参加率	2.6%	-0.5%
地域づくり活動への参加意向（企画・運営として）	38.6%	4.0%	町内会・自治会参加率	34.2%	1.6%
ボランティアのグループ参加率	12.2%	1.1%	支援・助け合い活動可能数平均	2.49	-0.17
<b>4. 健康観や幸福感</b>					
主観的健康感が良い	74.9%	0.8%	趣味がある	62.8%	0.8%
幸福感がある（8点以上）	36.3%	1.3%	生きがいがある	48.5%	1.4%
<b>5. 孤立の状況</b>					
誰かと食事をともにする機会がない	10.0%	2.6%	看病や世話をしてくれる人がいない	3.9%	-0.2%
友人との交流がない	20.3%	2.1%	昨年と比べて外出の回数が減っている	22.0%	-1.1%
心配事や愚痴を聞いてくれる人がいない	2.6%	-1.0%	外出を控えている	14.7%	1.0%
<b>6. 在宅介護の状況</b>					
主な介護者が70歳以上	42.6%	-1.1%	訪問診療を利用していない	78.7%	10.3%
施設等への入所・入居を検討／申し込みをしている	29.5%	-3.9%	主な介護者が行う介護の種類	5.56	-0.80
利用している介護保険以外の支援・サービスの種類の平均	1.62	-0.24	就労継続の見通しが困難	14.3%	-5.7%
介護保険サービスを利用していない	21.3%	-9.0%	成年後見制度の認知度（新規）	38.3%	1.7%

(5) 中央地域西（効範・水南・長根連区）

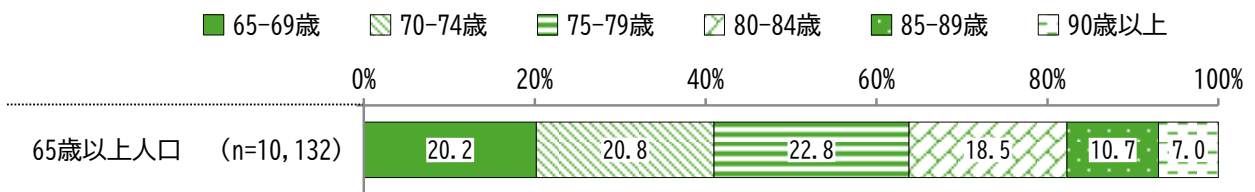
- ◆高齢化率、75歳以上人口率ともに5圏域の中で最も低く、75歳前後のいわゆる団塊の世代より、40歳代後半から50歳代前半の団塊ジュニア世代の人口の方が多いのが特徴です。
- ◆高齢者の状況を見ると、全体的に市全域の数値を下回っています。
- ◆地域活動の状況は5圏域の中でも全般的に低く、特に町内会・自治会への参加率は、市全域より9.6%低くなっています。
- ◆「施設等への入所・入居を検討／申し込みをしている」が市全域を3.8%上回っています。

■人口ピラミッド（人口：37,324人、65歳以上：27.1%、75歳以上：16.0%）



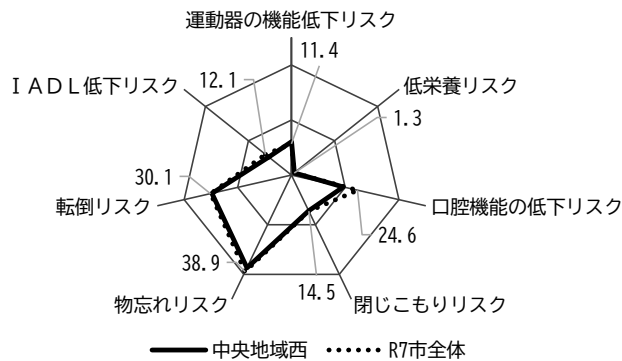
出典：令和7年10月1日現在 瀬戸市連区別年齢別・男女別人口

■年齢別高齢者人口割合



出典：令和7年10月1日現在 瀬戸市年齢別人口

■要介護リスクの状況（圏域平均との比較）

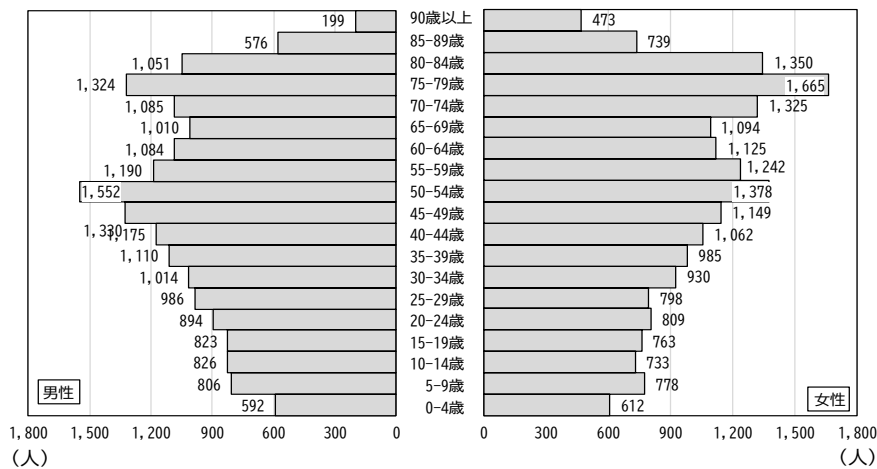


地域カルテ 【中央地域西】					
指標等項目	数値	市全域との差	指標等項目	数値	市全域との差
<b>1. 統計指標</b>					
人口	37,324人	-	高齢化率	27.1%	-3.3%
高齢者人口	10,132人	-	75歳以上人口率	16.0%	-2.6%
75歳以上人口	5,982人	-	85歳以上人口率	4.8%	-0.6%
<b>2. 高齢者の状況</b>					
単身世帯の割合	14.0%	-1.5%	口腔機能低下リスク	19.3%	-5.3%
高齢者夫婦のみ世帯の割合	49.2%	2.5%	閉じこもりリスク	14.3%	-0.2%
虚弱リスク	7.1%	0.0%	物忘れリスク	37.3%	-1.6%
運動器の機能低下リスク	12.2%	0.8%	転倒リスク	29.6%	-0.5%
低栄養リスク	1.3%	0.0%	IADL低下	10.6%	-1.5%
<b>3. 地域での活動</b>					
地域づくり活動への参加意向（参加者として）	50.0%	-1.7%	老人クラブ参加率	1.4%	-1.7%
地域づくり活動への参加意向（企画・運営として）	30.7%	-3.9%	町内会・自治会参加率	23.0%	-9.6%
ボランティアのグループ参加率	7.5%	-3.6%	支援・助け合い活動可能数平均	2.62	-0.04
<b>4. 健康観や幸福感</b>					
主観的健康感が良い	72.5%	-1.6%	趣味がある	64.6%	2.6%
幸福感がある（8点以上）	36.5%	1.5%	生きがいがある	48.1%	1.0%
<b>5. 孤立の状況</b>					
誰かと食事をとる機会がない	5.6%	-1.8%	看病や世話をしてくれる人がいない	3.7%	-0.4%
友人との交流がない	20.4%	2.2%	昨年と比べて外出の回数が減っている	23.8%	0.7%
心配事や愚痴を聞いてくれる人がいない	3.7%	0.1%	外出を控えている	13.8%	0.1%
<b>6. 在宅介護の状況</b>					
主な介護者が70歳以上	43.7%	0.0%	訪問診療を利用していない	66.0%	-2.4%
施設等への入所・入居を検討／申し込みをしている	37.2%	3.8%	主な介護者が行う介護の種類	6.00	-0.36
利用している介護保険以外の支援・サービスの種類の平均	1.94	0.08	就労継続の見通しが困難	17.3%	-2.7%
介護保険サービスを利用していない	30.9%	0.6%	成年後見制度の認知度（新規）	40.6%	4.0%

(6) 南部圏域（山口・本地・菱野・新郷・原山台・萩山台・八幡台連区）

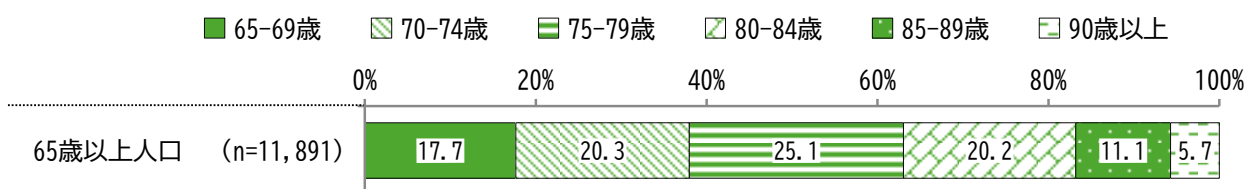
- ◆人口、高齢者人口、75歳以上人口はいずれも5圏域の中で最も多くなっています。
- ◆高齢者の状況をみると、市全域より転倒リスク、閉じこもりリスクがやや下回っています。
- ◆町内会・自治会への参加率は、市全域より2.5%高くなっています。
- ◆幸福感が5圏域の中で最も低くなっています。主観的健康観、「趣味がある」も市全域よりやや低くなっています。
- ◆在宅介護の状況をみると、「介護保険サービスを利用していない」が5.1%、「就労の見通しが困難」が5.2%で市全域より低くなっています。

■人口ピラミッド（人口：37,637人、65歳以上：31.6%、75歳以上：19.6%）



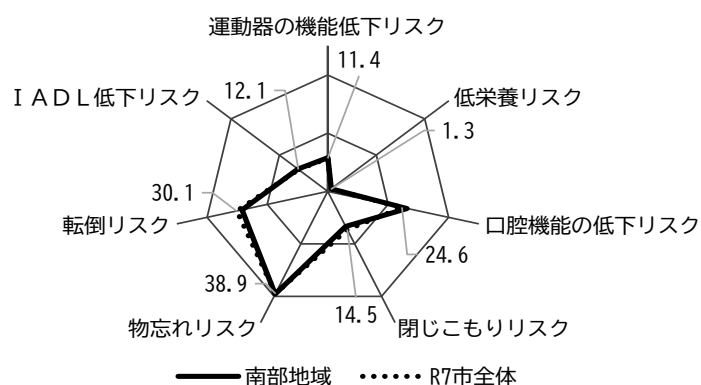
出典：令和7年10月1日現在 瀬戸市連区別年齢別・男女別人口

■年齢別高齢者人口割合



出典：令和7年10月1日現在 瀬戸市年齢別人口

■要介護リスクの状況（圏域平均との比較）



地域カルテ 【南部圏域】					
指標等項目	数値	市全域との差	指標等項目	数値	市全域との差
<b>1. 統計指標</b>					
人口	37,637人	-	高齢化率	31.6%	1.2%
高齢者人口	11,891人	-	75歳以上人口率	19.6%	1.0%
75歳以上人口	7,377人	-	85歳以上人口率	5.3%	-0.1%
<b>2. 高齢者の状況</b>					
単身世帯の割合	16.8%	1.3%	口腔機能低下リスク	26.2%	1.6%
高齢者夫婦のみ世帯の割合	44.5%	-2.2%	閉じこもりリスク	13.3%	-1.2%
虚弱リスク	7.6%	0.5%	物忘れリスク	39.1%	0.2%
運動器の機能低下リスク	11.6%	0.2%	転倒リスク	28.4%	-1.7%
低栄養リスク	1.5%	0.2%	IADL低下	12.3%	0.2%
<b>3. 地域での活動</b>					
地域づくり活動への参加意向（参加者として）	51.5%	-0.2%	老人クラブ参加率	4.5%	1.4%
地域づくり活動への参加意向（企画・運営として）	35.5%	0.9%	町内会・自治会参加率	35.1%	2.5%
ボランティアのグループ参加率	11.6%	0.5%	支援・助け合い活動可能数平均	2.68	0.02
<b>4. 健康観や幸福感</b>					
主観的健康感が良い	73.1%	-1.0%	趣味がある	60.5%	-1.5%
幸福感がある（8点以上）	32.1%	-2.9%	生きがいがある	47.6%	0.5%
<b>5. 孤立の状況</b>					
誰かと食事をとる機会がない	8.1%	0.7%	看病や世話をしてくれる人がいない	5.5%	1.4%
友人との交流がない	17.5%	-0.7%	昨年と比べて外出の回数が減っている	23.1%	0.0%
心配事や愚痴を聞いてくれる人がいない	4.4%	0.8%	外出を控えている	12.4%	-1.3%
<b>6. 在宅介護の状況</b>					
主な介護者が70歳以上	44.7%	1.0%	訪問診療を利用していない	66.4%	-2.0%
施設等への入所・入居を検討／申し込みをしている	31.9%	-1.5%	主な介護者が行う介護の種類	6.24	-0.12
利用している介護保険以外の支援・サービスの種類	1.94	0.08	就労継続の見通しが困難	14.8%	-5.2%
介護保険サービスを利用していない	25.2%	-5.1%	成年後見制度の認知度（新規）	28.2%	-8.4%